



# 広報 ひこね

2004

7/1

夏でも水が冷たい「服部町ふれあい河川」(服部町)



三火光神社の前に立つ森野さん

表紙では、「住みたい 住み続けたいまち」彦根の表情を写真で紹介しています。写真をお持ちでない場合は、**園情報政策課**広報係で撮影します。☎22-1411(内線431)へ気軽に連絡してください。

長い間地域を支えてきたこの美しい流れを、これからも町民全体で守っていききたいと思います。

近年の上水道や農村下水道の普及により、川の水を生活に利用する機会は減少しました。しかし、平成7年には、神社周辺を中心に「服部町ふれあい河川」として整備され、現在は、子どもたちの遊び場、地域の憩いの場となっています。

各家庭の生活用水として使われていました。さらに、川の水は、周辺の田畑にも潤いを与え、豊かな実りをもたらしてきたのです。

服部町内の三火光神社の前を流れる清流は、愛知川の伏流水を主な水源として、古くは江戸時代から、服部町を含めた、この地域の住民の生活を支えてきました。町内にはこの川から分岐した水路が縦横に走り、

森野 宏一 さん(服部町)

表紙のことば